

# 「風格・文気・体式—— 如何着手研読散文」

## 【講演者】

# 倪文尖

華東師範大学・中国語言文学系・准教授

【司会】 鈴木将久（東京大学）

## 【日時】

2021年1月29日（金）  
15:00~17:30

## 【開催方法】

Voov ミーティング

ミーティング ID : 185 066 450

パスワード : 108725

※関連テキストが必要な方は、下記までご連絡ください。

鈴木将久 : [msuzuki@l.u-tokyo.ac.jp](mailto:msuzuki@l.u-tokyo.ac.jp)

【言語】 中国語

現在、文学研究はどのような問題を論じ、いかなる方法を切り開いているのだろうか。2021年のはじまりにあたり、中国文学研究において新たな探究をしている三人の方を招いて講演していただき、文学研究の現在地と今後のあり方を展望したい。

第三回では中国の散文の研究を試みる。散文研究が難題なのはよく知られていることである。散文は大きなジャンルであり、他と区別する特徴がない。この講演では顕著な風格を持つ具体的な作家の作品を手掛かりにして、比較して読解し、そこから散文というジャンルの構想を多くの次元から見出す。

また、研究の最初の段階では、伝統的な方法、個人の語感や直観を重視すべきであり、ナラトロジーなど小説研究の方法を使うべきであると提案する。扱う予定のテキストは、張愛玲「公寓生活記趣」、郁達夫「故都的秋」、朱自清「荷塘月色」、余秋雨「道士塔」である。

## 【主催】

・東京大学東アジア藝文書院（EAA）